

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年12月16日(2024.12.16)

【公開番号】特開2023-87189(P2023-87189A)

【公開日】令和5年6月23日(2023.6.23)

【年通号数】公開公報(特許)2023-117

【出願番号】特願2021-201420(P2021-201420)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月6日(2024.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示領域を有する表示装置と、

前記表示領域にて当否抽選結果を示す装飾図柄が所定の変動方向に変動表示された後、当該装飾図柄が停止または擬似停止することを契機として前記表示領域に表示される基準画像が前記表示領域に対してずれたかのように変位する画像変位演出を実行する演出実行手段と、

を備え、

前記画像変位演出は、前記表示領域における前記変動方向側の反対である基準縁から離れる方向に前記基準画像が変位するものであることを特徴とする遊技機。

30

【請求項2】

前記表示領域の一方側に一方側装飾図柄が、他方側に他方側装飾図柄が、当該一方側装飾図柄と当該他方側装飾図柄の間に中央側装飾図柄が変動表示され、

前記一方側装飾図柄が停止または擬似停止することを契機として、前記表示領域の一方側の方が他方側よりも前記基準縁からの変位量が大きくなるように前記基準画像が変位することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記表示領域の一方側に一方側装飾図柄が、他方側に他方側装飾図柄が、当該一方側装飾図柄と当該他方側装飾図柄の間に中央側装飾図柄が変動表示され、

前記中央側装飾図柄が停止または擬似停止することを契機として、前記変動方向に沿うようにして前記基準画像が変位することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の遊技機。

40

【請求項4】

前記表示領域の一方側に一方側装飾図柄が、他方側に他方側装飾図柄が、当該一方側装飾図柄と当該他方側装飾図柄の間に中央側装飾図柄が変動表示され、

前記一方側装飾図柄、前記他方側装飾図柄および前記中央側装飾図柄が同時に停止または擬似停止することを契機として、前記変動方向に沿うようにして前記基準画像が変位することを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか一項に記載の遊技機。

【請求項5】

前記装飾図柄が停止または擬似停止した後、再変動することを一または複数回繰り返し

50

、当該再変動の回数により対象当否抽選結果が当たりとなる蓋然性を示唆する連続演出を実行することが可能であり、

前記連続演出における前記装飾図柄の停止または擬似停止時に、前記画像変位演出が発生することを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の遊技機。

10

20

30

40

50